よろこび

日蓮宗 御聖会

本　山　妙顕寺
長音山　本蓮寺

『よろこび』十七

貫首　齊藤　日軌

此の度、石仏庵記および本山妙顕寺ホームページ瞑想録に掲載した文章を整理し『スピリチュアルアルバム』を国書刊行会から出版しました。皆様のよろこび生活のお役に立てる事を願ってます。

「北海道の中心に位置する富良野。そこに建つ本要寺・石佛庵ではスピリチュアルな力をもった石たちが神仏と戯れる。金山石、神居古潭石、虎目石、アメジスト、水晶、水藻石、翡翠、瑪瑙……。そこで暮らす石佛庵住職は、石たちを愛で、瞑想に入り、前世を思い出し、体外離脱や夢のなかで日蓮聖人やお釈迦様に教えを受け、日蓮教学の研鑽に励み、日本の中心栃木県佐野市にある日蓮宗本山妙顕寺第四十九世貫首に就任する。石佛庵住職がつづる、ブッダに導かれし人生の智慧を収めたジュエルボックス。」（国書刊行会ホームページ）

みおしえ

私達の意識には、川のように流れる想念の流れがあります。失敗など、過去の苦しみや学校などを引き籠もりの人なども、つい思い出しては心悔やんだり、遭ったことの苦しみを抱え、ずっと思いこれの後悔念や自責、そのしみの想念が成長を繰り返し、自分なかなかの流ルマの渦はそこにはまり込むと攻め出てこれの流れやに何でもなさそうな川で遊んでいる子供たちが、夏に流されたり渦に巻き込まれたりするように、意識の流れに乗り換えることは比較的容易です。身の周りの全てに感謝し南無妙法蓮華経と唱えよろこびの流れに生きましょう。

一方いつもにこにこ楽しそうに「よかった」と話しかけてくれる人もいます。こういう人は意識のよろこびの想念の流れ、あわせの想念の流れに乗り換えよろこびの流れを止めることは難しいが、意識の流れを乗り換えることは比較的容易です。身の周りの全てに感謝し南無妙法蓮華経と唱えよろこびの流れに入りましょう。

心の言葉

南無妙法蓮華経と唱え
感謝からよろこびの流
れに入りましょう